

まちづくり活動提案書

（ 地域“魅力”アップ部門 ・ “はじめての一步”部門 ）

※助成を受けようとする部門を○で囲んで下さい

1 助成を受けようとするまちづくり活動の提案について

団 体 名	名古屋陶磁器産業歴史文化研究会
提 案 名	名古屋陶磁器会館ホールを活用した「文化のみち」の活性化
提案活動を行なう地域	名古屋市東区文化のみち（名古屋城から徳川園に至るエリア）
提案の背景	名古屋城から徳川園へのルートの中にある「名古屋陶磁器会館」は名古屋市景観重要建造物指定（平成20年）、国登録有形文化財建造物登録（平成20年）にも指定された歴史的に価値の高い建物です。その2階ホールを活用し文化のみちを活性化し地域住民の方の豊かな暮らしを提案するとともに国内外の観光客に対して魅力ある名古屋を発信したい。
提案活動の目的・目標	<p>(活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください)</p> <p>■目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「文化のみち」の活性化 歴史的建造物と共に展覧会などのイベントにより人の流れを創る 2. 東区の魅力を再発見 東区地域の住民の方に文化的な歴史や芸術にふれる環境を創る また、子供たちにも地域の魅力を伝える 3. 名古屋陶磁器会館の文化的活動を促進 歴史的建物に展示会などのソフト部分を充実させることで地域の文化財の価値を高める <p>■目標</p> <p>日本画家の伊東正次画伯作 襖絵「三春の滝桜」（1997年制作、202cm×945cm）と「藤花図」（145cm×560cm）を展示します。登録有形文化財建造物である洋館の真っ白い大ホールに寺院の書院などでしか見られない日本画の大きな襖絵を無料で鑑賞して頂きます。作者のご本人に作品等に付いてのお話をして頂きます。マスコミにも取り上げられて大勢の見学者のご来場と高い評価を頂けることを目標とします。</p> <p>■成果</p> <p>名古屋陶磁器会館の建築物的価値の継承は勿論のこと文化のみち、また名古屋城から徳川園までを繋ぐ要所として文化・芸術活動を充実した企画を行うことにより人の流れを生み出し、周辺の文化財を含めた地域の活性化を目指すものです。また、クオリティの高い文化・芸術作品を無料の展示会を企画し、芸術活動への間口を広げ幅広い地域住民、多くの観光客の文化の向上に寄与したいと考えます。</p>

<p>提案の内容</p>	<p>(上記の目的、目標に沿って、活動内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あいちトリエンナーレへ・パートナーシップへの参加 2. 日本画家・伊東正次氏の襖絵「三春の滝桜」と「藤花図」の展覧会開催、入場無料 3. 日本画家・伊藤正次氏のご指導による、絵はがきサイズの日本画教室の開催、参加費は材料費として一名につき1000円を徴収 4. 東区内の中学生を招いて、三浦玲子氏(美術講師有資格者)による日本画について解説 5. 日本画家・伊藤正次氏による講演会の開催、入場料無料 <p>を実施するものです。</p>		
<p>活動期間</p>	<p>平成28年4月～平成28年12月</p>	<p>助成金交付申請額</p>	<p>40万円</p>

2 提案内容の視点

以下の視点で提案内容についてご記入ください。

<p>審査基準① 必要性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・地域との連携や協力が得られる活動か ・活動メンバーのみの趣味活動や仲間づくりではなく多くの人に理解や共感を得られる活動か ・工事を伴う活動の場合、公益性、公共性のあるものか
<p>(提案活動の必要性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) ※過去の助成を受けた団体は、その活動助成の成果も踏まえて記入下さい。 平成28年6月1日より名古屋城本丸御殿が公開されることにより、国内外から「名古屋城」に注目が集まります。この機会を生かし8月からスタートする「あいちトリエンナーレ」に参加し徳川園までの文化のみちルートを活性化する一翼となります。 名古屋城から徳川園をつなぐルートとして名古屋陶磁器会館の活用は双方向の人の流れを生み出します。襖絵に関する一般市民の関心や知識を高める。</p>	
<p>審査基準② 独創性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫にあふれた活動か ・地域性を活かした個性豊かな活動か ・新しい視点やアイデアがあるか
<p>(提案活動の独創性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。) 名古屋城本丸御殿は、狩野貞信や狩野探幽など日本画史上最大の画派「狩野派」の絵師たちにより、部屋ごとに異なる題材で床の間絵、襖絵などが描かれ、絢爛豪華に彩られていました。竹林豹虎図(玄関一之間東側襖絵)は特に有名な襖絵です。今回の本丸御殿の公開と重ねて「襖絵」に焦点をあてその雄大な魅力を展示したいと考えます。2階大ホール天井高や広さを活用し通常のギャラリーでは展示の難しい(面積的に)襖絵もダイナミックな美しさを展示出来ると考えます。 また、日本画家の伊東正次先生には襖絵を無償にて展示頂けることや「襖絵お話」「日本画にふれる教室」(絵はがき等に日本画を描くワークショップ)なども行って頂けることで来館者と展示会を通じた文化交流を実現します。 今活動を機会に「あいちトリエンナーレ」にも参加し、継続的な文化発信を行い文化のみちルートを活性化してまいります。</p>	
<p>審査基準③ 実現性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容が具体的になっているか ・自己資金を含め、活動内容や資金計画などは妥当か ・場所や人員、規模などは妥当か
<p>(提案活動の実現性について上記観点から分かりやすくご記入ください。) 伊東先生は日展などでも活躍され、昨年は上海でも展示会を成功されています。あわせて、日本画の魅力幅広く伝える社会的貢献活動(福島県の老人ホームなどでの展示や子供たちへの日本画教室など)にも力を注がれており、会館の方向性「質の高い文化/芸術を身近に経験する機会を創りたい」という想いに共感して頂き、作品を無償で貸して頂けることで入場料金を無料にし、出来るだけ多くの方にこの地域に足を運んで頂ける機会を創ることができます。 母体である一般財団・名古屋陶磁器会館の2階の大ホールの使用、スタッフの人的協力が担保されている。</p>	

審査基準④ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか ・工事を伴う活動の場合、成果物はまちづくりにどのように活かされるか
(提案活動の発展性について上記観点から分かりやすくご記入下さい。)	
<p>外国人観光客の訪日件数が著しく増加し、日本政府も 2020 年の日本を訪れる外国人観光客の目標数を 2000 万人から 3000 万人に引き上げると発表しています。名古屋市も国際的な観光・文化の発信を推進していますが近県（岐阜県高山市や三重県の伊勢志摩など）に比べ文化的な観光エリアが少ないという意見も多く名古屋市の魅力をさらに発信する必要があります。今回、自分たちが住む地域の魅力を生かし、さらにクオリティの高い文化を継続的に発信することが魅力あるまちづくりにつながると考えます。</p> <p>この展示会をきっかけに今後は日本全国、また愛知県出身の作家様の展示会も企画します</p>	
審査基準⑤ 活動実績 と主体性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか ・具体的にどんな熱意を注いでいるか ・工事を伴う活動の場合、自ら主体となって工事を行い、継続的に維持管理する能力があるか
<p>※「はじめの一步部門」は審査の対象とはしません。</p> <p>※参考資料として活動に関するチラシやリーフレットなどを添付することができます。 この場合、公正を期するため、A4判3枚（両面）までを限度とさせていただきます。</p> <p>(団体の概要、活動紹介、これまでの活動成果等を上記観点からご記入下さい。)</p> <p>1. 「世界の有名陶磁器展」、「ノーマン・ロックウエル作品展」</p> <p>2. クリスマス企画展（クリスマスデザインの陶器・陶磁器の食器・ノベルティの展示）</p> <p>一般財団法人名古屋陶磁器会館と連携して地域に密着した文化の向上に寄与すべき企画展を数々行ってきた。</p>	

3 提案活動にあたり他団体、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等と取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
2016年（平成28年） 5月9日（月）～ スリーアイルクリエーション株式会社	企画・運営・日本画家・伊藤正次画伯との連絡業務など
4月1日（金） 一般財団法人・名古屋陶磁器会館	会場使用、スケジュール調整、アテンド等のスタッフ人事運営業務

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。